

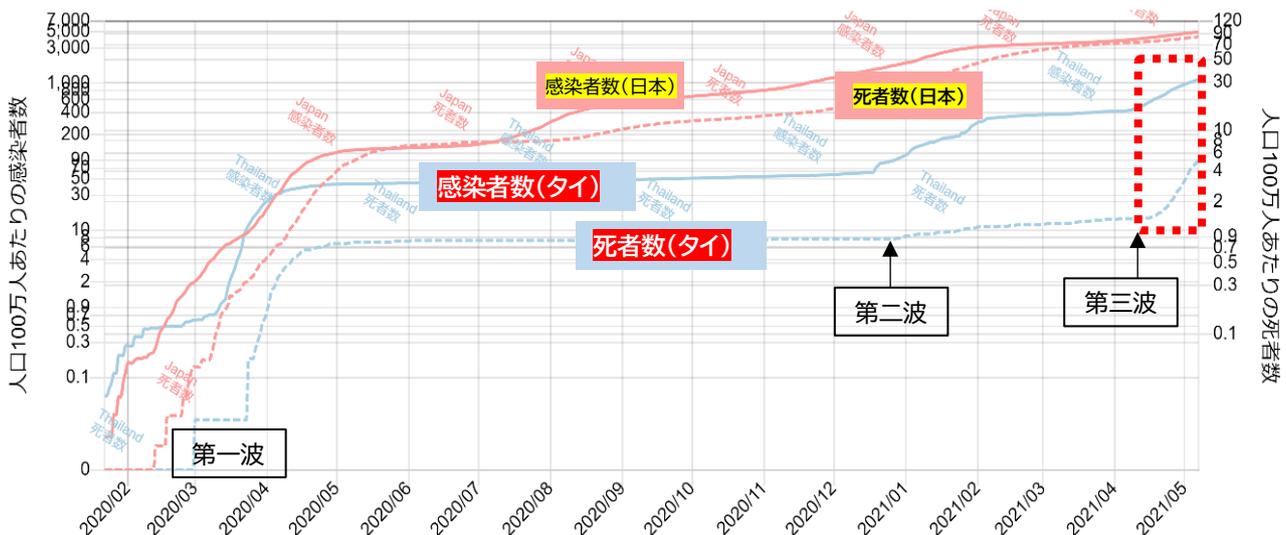
タイにおける現地情報

2021年5月10日
HS-TECH ENGINEERING
橋本真也

【コロナ第三波との格闘】

3月下旬、バンコク都内の「高級ナイトクラブ」を訪れたタイ人エリート層等を主要感染源とするコロナ陽性者が全国に拡大し、5月に入っても沈静化する気配が見られない。人口100万人あたりの死者数は「**第一波**」では一人未滿、「**第二波**」でも一人台に押さえ込まれていた。ところが5月7日時点では同・死者数が5.2人にまで激増している。タイは正に現在、コロナ「**第三波**」の渦中にある(図・表1 破線部分)²。バンコク都では特に感染増加が深刻な都内南部のスラム街³で、都庁が「**ワクチンの集団接種を優先的に進めている**」。

- [第一波:2020年3月中旬以降] 1月30日、外国人観光客からの第一号国内感染者発生(非常事態宣言発令:3月26日)
- [第二波:2020年12月中旬以降] 劣悪な職・住環境におかれたバンコク都内の特定地域の移民労働者等が端緒⁴



図・表 1 人口100万人あたりの感染者数および死者数の推移

出所:札幌医科大学のウェブサイトから引用、加筆

1979年から英国の医療ノウハウを導入し、健康管理や医療セキュリティー分野における先進国を自他共に認め、昨年来コロナ封じ込めにも成功してきたタイである。ところがワクチンの手配および国内での製造が計画通りとはいえず、ワクチン接種による集団免疫獲得に向け苦闘しているようだ。

タイ中央銀行(Bank of Thailand)金融政策委員会は5月5日、ワクチン接種に関する三つの進捗ケース(シナリオ)を示した⁵。集団免疫の獲得時期を2022年12月とする(ワースト)ケース-3の場合、前倒し達成のケース-1と比べて2022年のGDP成長率は対前年比5.7%押し下げ(3.1兆円)を予想した(図・表2、図・表3)。

¹ 入会金数万バーツとされ、特別な社交場でもあるらしい。感染者には現職の大臣に加えて、複数の邦人も含まれていた。

² WHO推計(2018年)によれば、タイの100万人あたりの交通事故死者数は327人。コロナによる死者数の比ではない。

³ 1日の収入が150バーツ(525円)以下の貧困者が多数を占める。

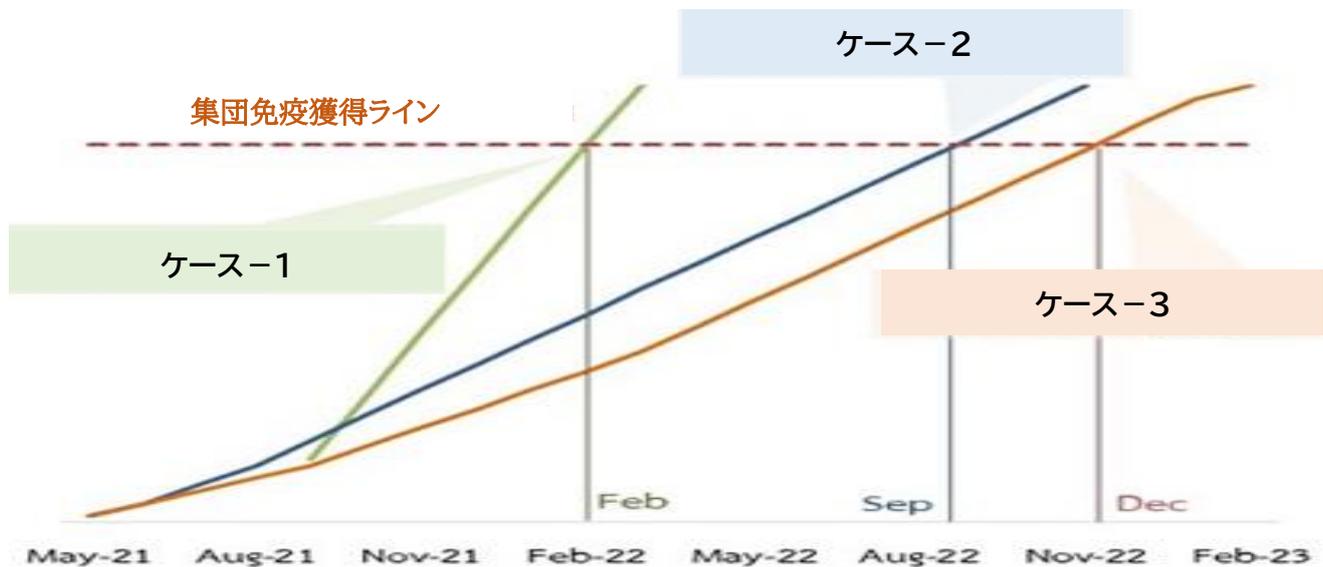
⁴ 第9弾(タイ)新型コロナウイルス感染症関連情報「タイにおける現地情報」<https://www.f-abc.org/news/040/>

⁵ BOT Press Release No. 33/2021 <https://www.bot.or.th/English/PressandSpeeches/Press/2021/Pages/n3364.aspx>

図・表 2 ワクチン接種による集団免疫の達成時期と経済へのインパクト

	ケース-1 計画より前倒し		ケース-2 計画通り		ケース-3 計画から遅延	
	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年
ワクチンの手配数、 配布完了時期	一億回 2021年中		6,460万回 2021年中		6,460万回 2021年中に未達成	
集団免疫の獲得時期 ^(注1)	2022年2-3月		2022年9月		2022年12月	
対象年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年
GDP成長率(%対前年比)	2	4.7	1.5	2.8	1	1.1
海外からの旅行者数 ^(注2) (万人)	120	1,500	100	1,200	80	800
ケース-1と比較した 経済的影響			GDP成長率の3.0%押し し下げ(460 BTHB=1.6 兆円)		GDP成長率の5.7%押し 下げ(890 BTHB=3.1兆円)	
2022年末における 失業者数 ^(注3) (万人)		270		280		290

(注1) 集団免疫の達成は長期滞在中の外国人(約300万人)を含めて、約7,000万人のタイ人の70%がワクチンの接種を受ける事を前提としている。外国人への接種は、タイ国内で6月から委託製造が開始されるワクチン(アストラゼネカ製)が使用されるらしい。現時点でのワクチン接種率は2%程度 (注2) 2019年の旅行者数は3,980万人 (注3) 2020年12月時点の失業者数は58.9万人
出所: Bank of Thailand の資料を邦訳、加筆

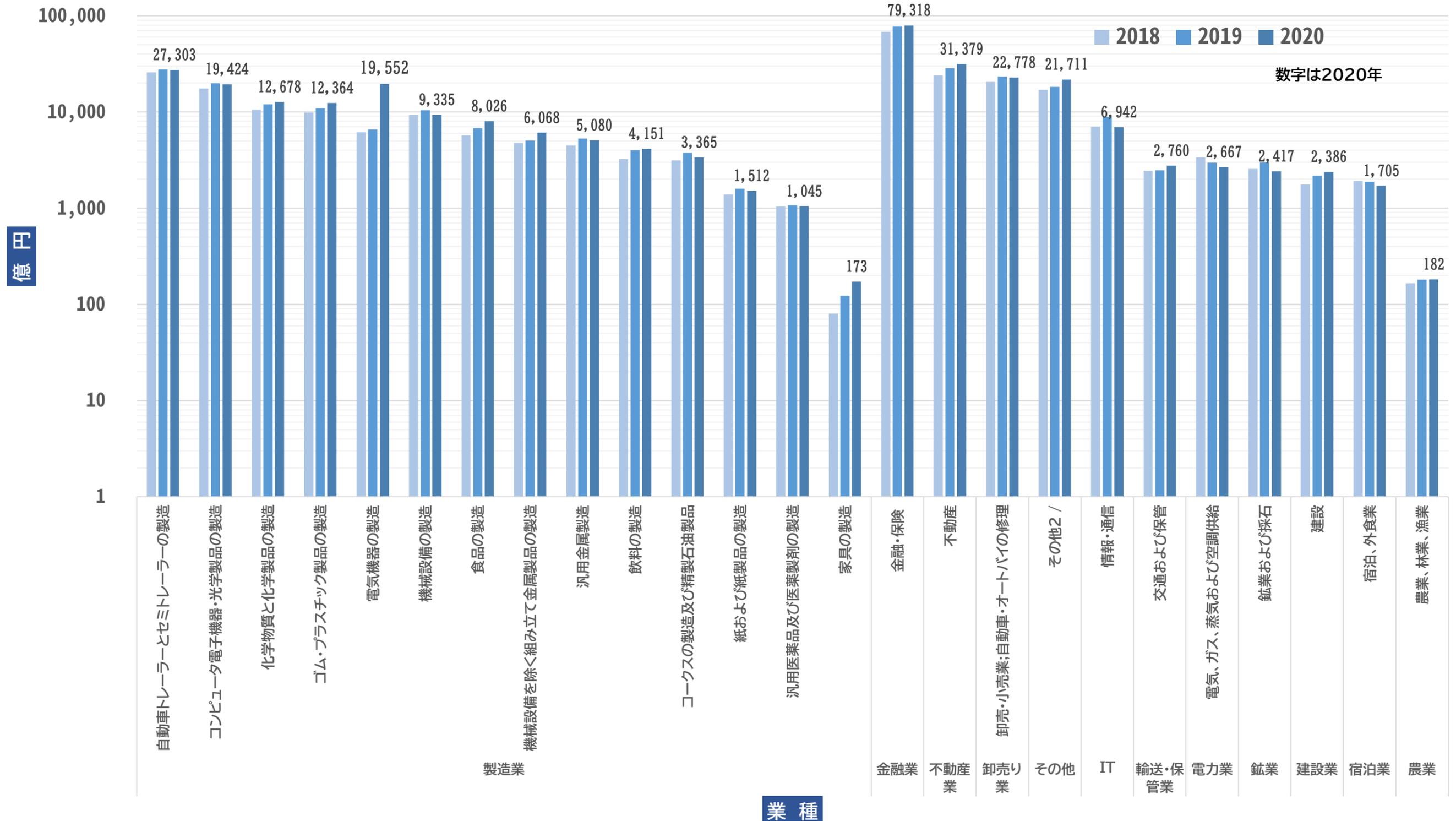


図・表 3 集団免疫獲得までの道のり(三つのケースによる)

出所: Bank of Thailand の資料を邦訳、加筆

ところで、コロナ禍においても2020年を通してみれば、海外からの直接投資額(図・表4)に大きな落ち込みはない。業種によっては増加している。さらに2021年第一四半期におけるタイ国投資委員会担当分の海外からの投資(5月8日発出)も旺盛で、韓国⁶をトップに中国およびシンガポールが続いている。今後、ワクチン接種をはじめとする各種施策を果敢に実行し、このコロナ「第三波」をうまく乗り越えたい。

⁶ 重点産業の医療分野(法人所得税の長期間免除、機械輸入税の減免等が適用される。)における大型ジョイントベンチャー案件により、韓国が投資額でトップに躍り出た。https://www.boi.go.th/index.php?page=press_releases_detail&topic_id=127797



図・表 4 海外からの直接投資額推移(業種別、2018年~2020年) 出所:Bank of Thailand のデータから作成

(為替レートは1ドル109.17で換算、金融・保険分野への投資には、M&Aを含むと考えられる。)